

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
職業関連活動学		必修	1	3	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
浅野 克俊	C313	k.asano		金曜日 14:40~16:10	
授業の目的・概要	障害者の就労支援を行うために、関係する制度を確認し、具体的な評価方法を学習する。就労形態とその実際については、事例を交えて理解を深め、評価方法は実際に演習を交えながら評価手法を学ぶ。職業に関連した障害構造について理解し、その後フォードバックとメディアを利用した意見交換を行い、職業関連活動についての理解を深める。				
学習上の助言	障害者の就労を検討するためには、これまでに学んだ専門知識をまとめケースごとに生かしていくことが求められる。				
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 岩崎テル子編 医学書院				
参考書	職業リハビリテーション学 第2版 松為信雄・菊池恵美子著 協同医書出版 作業療法学全書 改訂第3版 第12巻 作業療法技術学4 職業関連活動 早川弘子編 協同医書出版				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	障害者の就労を支援するための法律や制度について、具体的に説明できる。			HSU(2)、PT(2)	
②	就労の評価方法と支援のポイントについて、それぞれ具体的に述べることができる。			PT(2)(3)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	働くことの意義と作業療法士の就労支援について学習する。	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	2	
2	職業評価について学習する。(GATB、VPI など)	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
3	職業評価について学習する。(作業場面の評価)	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
4	職業評価について学習する。(性格検査)	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
5	就労移行支援の実際について学ぶ。	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
6	就労継続支援 A 型の実際について学ぶ。	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
7	就労継続支援 B 型の実際について学ぶ。	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	4	
8	地域活動支援センターⅢ型について学ぶ。	同時双方向型授業	事前学習として教科書を読み、課題に取り組み、事後学習は学習内容・ポイントを整理する。	2	
試	期末試験				

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書、板書内容および発表内容等に基づく問題を出題し、理解度を問う。				研究室 (C313) またはリモート等で個別に振り返りを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎浅野克俊</p> <p>Teams を使用した同時双方向型授業やグループワークも行います。授業時は通信容量が無制限に使用できるインターネット環境を推奨します。</p> <p>授業時のフィードバック、意見交換：フィードバック、意見交換の機会は授業時間内に実施する</p> <p>教員の実務経験：本科目を担当する教員は作業療法士として 10 年以上の実務経験を有している。</p> <p>実践的授業の内容：教科書と併せて就労支援で用いられる検査・評価を実際に体験するとともに、文献検索を交えた発表を通して理解を深める。</p>							